
株主のみなさまへ

ほっとらいん

第92期中間 事業概況

平成27年4月 1日から

平成27年9月30日まで

東北電力株式会社

目次

ごあいさつ	1
事業の概況	3
・販売電力量の概要	
・収支の概要	
第2四半期決算の概要	5
お知らせ	7
・新たなコーポレートスローガン	
トピックス1	9
・火力発電所における環境負荷低減・経済性 向上に向けた取り組み	
トピックス2	10
・原子力発電所の安全性向上に向けた取り組み	

(注) 燃料費調整制度のタイムラグ影響・・・燃料価格の変動が電気料金に反映するまでに一定の時間差が生じることによる影響。燃料価格下落局面では収支改善要因に、上昇局面では収支悪化要因となる。

ごあいさつ

株主のみなさまには、平素より格別のご高配をたまわり、厚く御礼申し上げます。

ここに当社第92期中間事業概況(平成27年度上半期)をご報告申し上げます。

当年度の第2四半期決算(連結)は、電気を安定してお届けするための設備維持に必要な修繕費の増加などがあったものの、燃料費調整制度のタイムラグ影響などによる一時的な収支改善要因があったことに加え、経費全般にわたる徹底した経営効率化に継続して取り組んできていることなどから、経常利益は前年同期を若干上回る928億円となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は629億円となりました。

中間配当につきましては、上記の決算の状況や今後の収支見通し、財務体質の回復の状況などを総合的に勘案し、前年度の期末配当と同じく、1株当たり10円とさせていただきます。

当社は、平成23年の東日本大震災や新潟・福島豪雨水害等により経営基盤が大きく毀損しましたが、電力設備の復旧に全力で取り組むとともに、全社をあげて徹底した効率化に取り組んだことなどにより、経営基盤も回復の道を歩みつつあります。

来年4月から実施される小売全面自由化により、電力市場における競争が今後一層進展していくことが予想されますが、経営基盤の回復の歩みをより力強いものとし、そして今後の競争に打ち勝ちながら事業を持続的に発展させていくことが、経営陣に与えられた責務であると考えております。

このような新しい時代を迎え、お客さまから当社をお選びいただき、お客さま・地域の声にしっかりとお応えしていくという当社の企業姿勢を示す新たなコーポレートスローガン「より、そう、ちから。」を設定いたしました。このスローガンのもと、社員ひとりひとりが

お客さまや地域のために何が最善かを考え、真心を込めた仕事を全うしてまいります。

当社は、これからも東北6県と新潟県の成長、発展に貢献しながら、小売全面自由化への対応や、原子力の再稼働等といった経営の最重要課題に対して、しっかりと取り組んでまいります。

株主のみなさまにおかれましては、なお一層のご理解とご協力をたまわりますようお願い申し上げます。

平成27年11月



取締役会長
海輪 誠



取締役社長
原田 宏哉